



# 西を豊かに

2014年  
7月1日発行  
第10号

**発行者**  
新潟市西区自治協議会 会長 真嶋 民雄  
**事務局**  
〒950-2097  
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内  
TEL : 025-264-7161 FAX : 025-269-1650  
E-mail : chiiki.w@city.niigata.lg.jp

**ロゴマークの意匠**  
西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟スイカ、赤塚大根、黒塚茶豆、佐瀨の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せました。

**うちの協**  
坂井輪中学校区コミュニティ協議会  
10の部会がパワー全開

当コミュニティ協議会は中学校区という利点を活かして、10の部会で活動を展開しています。各部会では、部長が中心となり、部員と共に地域課題の解決に向けて事業を立案・実施しております。その事業は、どれも地域住民にとって楽しいものだったり、役に立つものだったり、また日々の生活の中でするおいを感じられるものなので、多くの参加者が集まります。役員が汗を流した分、地域に笑顔の花がたくさん咲いている「コミ協」です。



ぼうけん遊び場 坂井輪プレーパーク

## 自治協提案事業のお知らせ

今年度も自治協提案事業が盛りだくさん！  
多くの皆さんのお越しをお待ちしております。

### 高齢化をテーマにした講演会

講師 上野干鶴子さん(社会学者)  
開催日 平成26年9月7日(日)  
13時30分～15時30分  
会場 黒崎市民会館ホール

### 絵本を楽しむ秋のひととき

(坂井輪図書館と共催)

開催日 平成26年9月23日(火・祝)  
●講演会 13時30分～15時30分(予定)  
講師 さとう わきこさん(絵本作家)  
会場 黒崎市民会館ホール

●ワークショップ 10時～正午(予定)  
「ばばあちゃんのへや」  
(ボランティアによる絵本の読み聞かせ)  
対象 就園児(年少児)～小学校低学年  
会場 黒崎市民会館プレイルーム  
※開催時間が変更となる場合があります。  
※申込方法等の詳細は後日発行のチラシをご覧ください。

### あの日を忘れない！

## 防災講演会

### 津波に負けない災害文化

3月16日、群馬大学理工学研究所教授の片田敏孝氏を迎えて防災講演会を開催しました。参加者は204人でした。「釜石の奇跡」の立役者として知られる講師は、東日本大震災の経験から想定外の津波に負けない文化、多くの命を守るには何をすべきかを伝えてくれました。「てんでんこ」は、子どもがちゃんと逃げる子になること、想定外の津波を正しく恐れ、「てんでんこ」できる子や親として、津波から命を守ることに、津波から命を守る文化になると講演されました。



### 家庭人としては80点

## 新西区長 眞島幸平さん

西区は坂井輪の住宅地、赤塚や黒塚の農村部と両方の面があり、自然も豊かです。中でも私は、田んぼの緑が一番好きです。

### 編集長のわわインタビュー

4月に就任した新潟市初の公募区長である眞島幸平さんに抱負などお聞きしました。普段の区長の人となりをお伝えします。(酢山)

### 自己紹介をどうぞ。

巻町で生まれて現在は西区に住んでいます。昭和54年の市役所入庁後は様々な部署を経験し、今年の3月までは東京事務所長でした。中野小屋の食肉センターの立上げにも関わり、現場での仕事は新鮮な経験でした。趣味は10年前に始めた油絵で県展に2回入選しました。お酒は外で大勢で飲むのが好きで、家でも3人の息子との晩酌が楽しみです。入庁同期の妻は、今は市立保育園の園長ですと共働きのです。家事は結構やる方ではない



黒崎の朝取り茶豆や赤塚の砂丘地のお芋の「いもゼン」等、美味しい物もたくさんありますね。

### 区長としての抱負は。

新しいことに挑戦することが好きで、大変な面もあると思うけれど、思い切って区長公募に手を上げました。地域住民の一人として参加した青少年育成協議会での地域の方との繋がりも活かせるかな。

### 区長としての「4つの課題」に取組んでいきたいです。

1. 安心・安全なまちづくり
2. 学術文化のまちづくり
3. 環境を大切にすまじづくり
4. はつらつとした風通しのいい区役所づくり

区長就任後3カ月、率先してあいさつ運動に取組み、庁舎内も少し変わったかなと感じていますが、どうかな。

### 自治協議会に期待するところは。

81万人の政令指定都市になって7年、今は行政だけが一方的

### 知っく 街のタネ

## 子育て情報誌「hugkumi」

西区初の子育て情報誌が完成しました。西区健康福祉課主催の親支援プログラム「ノーバディズパーフエクト講座」のメンバーが、「hugkumi」編集委員会として企画・編集しました。受講生のアイデアをもとに取材した子育て支援施設の紹介や臨床心理士、先輩ママからの子育てのヒントも盛り込みました。



取材を通して知った避難者交流施設の情報や、お家での過ごし方など、子育てママから子育て中の方にもぜひお読みいただきたい一冊です。(宗村)

## 募集 しています

### 広報紙や自治協議会活動についてのご意見

◆送付先/住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、広報紙1面の「事務局」あてに送付を。郵送または電子メールにてお願いします。

### とっておきの私の一枚

◆あなたの「自慢の写真」(家族・ペット・風景・イベント等)に住所・氏名(氏名は必須、ペンネームがあればペンネーム掲載・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください。)(電子メール可) ◆採用者には千円の写真カードを贈呈。 ◆応募された写真は返却しません。 ◆締め切り8月末日(次号掲載予定)。 ◆送付先/広報紙1面の「事務局」あて。

### 編集後記

西区は、区長公募制により今年度から新しい区長に替わりました。本紙を読んで下さった区民の皆さんには、新区長の思いやビジョンがご理解いただけたいと思います。今後本紙編集委員21歳から72歳まで老若男女7人で、西区を豊かにしていくような紙面づくりに邁進していきますので、どうぞご支援のほどお願い申し上げます。(内田)

### インタビューを終えて。

初対面でしたが眼鏡の奥のドンングリ眼に静かな闘志と子どものような茶目っ気を感じました。3年の区長の仕事を無難にこなすのではなく、新潟市初の公募区長としてのチャレンジを住民は期待します。私は区長が好きな西区の緑を描いた油絵の作品を早く見たいです。

# 西区自治協議会広報紙「西区を豊かに」

## 10号発行おめでとう!!

広報紙10号という節目を迎え、双方向の広報紙を目指し、3名の区民の方から率直な感想やご意見をいただく座談会を開催しました。



第1号から第9号

### 区民の読者座談会

- (参加者)
- 五十嵐 芳子さん  
寺尾新町第1自治会役員
  - 江端 明夫さん  
黒崎南ふれあい協議会事務局長
  - 立松 有美さん  
子育て支援  
ファシリテーター
- 【司会】  
西区自治協議会  
広瀬委員、宗村委員

#### どう紙面を自立させるかが課題

**司会** 今日は自治協広報紙について、ざくばらんにお話ししていただきたいと思っております。はじめに広報紙を読んでの感想をお願いいたします。

**五十嵐** 自治協の活動はかなり広いようですけれど、ポイントを押さえて見やすく作ってほしいと思います。

**立松** 何のために提供しているんですか？コンセプトがどこにあるかわからないと思いました。

**江端** 「西区を豊かに」の他にも市報・区役所だよりなど情報が多くある中で、どう紙面を自立させるかが課題ですね。

#### 区民の声を反映させるシステムを

**司会** 広報紙から自治協活動が見えますか。区民の声が反映されていますか。

**立松** 「自治協ってなに？」の記事は良かったですが、私達の生活に直結する活動は見えにくいですね。

**五十嵐** 広報紙は読者と双方向でというのは難しいと思えます。BRTの件も区民への問題投げかけが足りなかったのではないのでしょうか。

**江端** 区民は、自治会は理解出来ても、自治協を理解することは難しいと思います。Q&A形式で自治協を説明していただくことが大切なのではないでしょうか。

**五十嵐** 区民の声を、自治会から「三協を通して自治協へ」という流れがはつきりしていないのもあるのではないのでしょうか。

**江端** 黒崎南ふれあい協議会では、自治協に出席している委員が報告してくれますが、それでも双方向は難しいです。区民の声を紙面に反映させるシステムがあってもいいのではないのでしょうか。



左から、五十嵐さん、立松さん、広瀬委員、宗村委員、江端さん

#### 自治協に興味を持ってもらうために

**司会** 区民が興味を持つような紙面にするためのアイデアがあれば聞かせてください。

**立松** 自治協に関心を持ってもらうには、広報紙第8号のすぐろくのような記事がほしいと思いますよ。



**江端** 自治協に寄せられた感想を見ると、自治協の広報紙と区役所だよりの区別ができていない方もいるようです。

部会での議論があまり載っていないので、年1回は特集を組むのがいいでしょう。

**五十嵐** 会議が傍聴できるのですが、そのお知らせを載せても良いかも。まず興味を持ってもらうことが大切です。

**江端** 全体を見れば紙面づくりは良く出来ているので、区役所だよりと区別できる紙面にしてほしいです。

**立松** 「とっておきの私の一枚」を見た方の感想に、「こんなところにもこんなものがあるのか」というものが多いですね。新しい情報を得られるから興味をもちやすいのだと思います。

**五十嵐** 1面は文字を少なくして新年号のような紙面にすれば手に取ってもらえますよね。そうすれば、ページをめくってもらえる。そこに、こんな議論をしようという特集があればいい。

と思っています。

**司会** 多くのご意見ありがとうございました。今後の広報紙づくりに活かしていきたいと思っております。



新潟市長 篠田 昭

新潟市は今年で、大合併から10年目を迎えました。この節目の年に、区自治協議会の活動をさらに広く市民へ伝えようと、全区自治協議会において広報紙の発行が始まりました。

西区自治協議会では、



お祝い  
メッセージ



西区自治協議会 前会長 岡本松男

「西区を豊かに」は、より多くの区民に自治協議会とはどういう組織で、その活動と取組は何かを知らせ、そして区民のご意見を掲載する、区民と自治協議会と区役所三者の「架け橋」にこの願いから、委員の手作りで編集し第1号を平成24年3月に発行

委員の皆さまの発意により各区に先がけて広報紙を年4回発行してこられました。読みやすくなるよう工夫をされた紙面から、皆さまが特に活発な活動をされている様子が伝わってきます。

これからも地域の方々に情報を発信していただきますとともに、西区を豊かにするため、ますますご活躍いただきまことを期待申し上げます。

致しました。早くも第10号を発行できますこと、編集委員のご尽力に感謝致します。

自治協が発足して7年、自治協が生活に密着した議論のもとで、新たな西区のまちづくり、新たな西区の文化の創造に寄与し、「西区を豊かに」が益々その礎になることを期待申し上げます。

#### 読者参加の広報紙

編集基本方針には当初から「読者参加」をうたっています。読者である西区民の皆さんが紙面に参加したり、いただいた感想・意見を紙面に反映しています。

特に4面の「とっておきの私の一枚」は読者参加型企画で、「新春お年玉クロスワードパズル」には毎回300名以上の応募があります。

#### 自治協委員全員で作る広報紙

広報紙の発行者は真嶋会長ですが、実際の編集作業はプロジェクトチーム2の7名の委員です。

広報紙の記事の企画はチームで考えますが、自治協本会で最終的に確定し、校正刷りも全委員で点検します。

完成後も全委員から感想・意見を出してもらい、自治協委員全員で作り上げるシステムを大事にしています。

#### 親しみを増す 題名とロゴマーク

広報紙第1号は平成24年3月1日発行です。

どんな新聞や機関紙にも題名がありますが、西区自治協では第3期の自治協委員がプレゼンテーションされた案から投票で「西区を豊かに」を選びました。

提案者は新潟大学の学生だった若井さんと、ロゴマークの「すいか坊」も彼女の作です。



### 平成26年度 西区自治協提案事業

<p><b>●自治会長研修会</b> 先進的な活動をしている自治会を例に、課題解決の方法などを紹介する講演会などを開催します。</p>	<p>地域の活性化へつながるように委員自らが企画・実施する自治協提案事業。今年度の6事業をご紹介します。</p>
<p><b>●「おいしい！」を言葉に～特産品から考える味の表現～</b> 特産品を使って、味覚を伝える言葉のミニゲームや食材当てなど、ふれ！ふれ！西区ふれあいまつりでの参加型ブースを企画しています。</p>	<p><b>●「おいしい！」を言葉に～特産品から考える味の表現～</b> 特産品を使って、味覚を伝える言葉のミニゲームや食材当てなど、ふれ！ふれ！西区ふれあいまつりでの参加型ブースを企画しています。</p>
<p><b>●高齢化をテーマにした講演会</b> 社会学者 上野千鶴子さんを招き、超高齢化社会到来に伴い、一人ひとりがどう生きるかを考えてもらう講演会を開催します。(4面参照)</p>	<p><b>●佐潟の保全と活用「潟普請」地域連携事業</b> 佐潟の環境保全活動「潟普請」へ参加します。また、保全や観光への取り組みに活用してもらうための潟舟等の製作なども行います。</p>
<p><b>●親子で楽しむ絵本関連事業 (坂井輪図書館共催)</b> 「ばばあちゃん」の作者である、絵本作家 さとうわきこさんを招き、大人のための講演会と子どものための読み聞かせワークショップを開催します。(4面参照)</p>	<p><b>●第2回西区アートフェスティバル</b> 幅広いジャンルの音楽と地域に伝わる伝統文化を学ぶ「音楽・芸能」の発表の場として区民参加型フェスティバルを開催します。</p>